

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	わくわくクラブエース（新松戸校）・児童発達支援		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日		～ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		～ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・土曜日や長期休みに児童が楽しみながら経験できる いろいろなイベントを企画している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日ごろから、児童の興味関心の情報収集に努めている</li> <li>・児童や保護者から希望やニーズを聞きながら企画・実施している</li> <li>・家庭や幼稚園、保育所などでは実施が難しそうなこと、または挑戦しづらいことなどもここであればできそうという内容を検討している</li> <li>・特別感を出しながらも、余暇の過ごし方として無理なく家庭でも実施できそうというところにつなげていけるよう努めている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで実施したことがない企画も検討して経験の幅を広げていく</li> <li>・保護者やきょうだい児参加型のイベントも検討していく</li> </ul>
2	・職員が定着しており、児童も保護者も安心して利用できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の特性を理解して対応できている</li> <li>・保護者と共に、児童の成長を見守ることができている</li> <li>・チームワークにより、各児童に対して連携して支援している</li> <li>・継続した支援により、常にステップアップを心がけた活動内容の工夫や実践に努めている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き職員が継続して児童支援できることはもちろん採用にも力を入れ、職員の充実を図る</li> <li>・職員研修にも力を入れ、さらなる支援の質の向上に努めていく</li> </ul>
3	・活動や遊び時間の過ごし方など、児童が楽しく過ごしながらいろいろなことに挑戦できるよう工夫している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・机上の遊びや活動と広場で思いっきり体を動かす活動とスペースを分けて取り組んでいる</li> <li>・自由遊びの時間も積極的に指導員が遊びに加わり、児童が思いっきり身体を動かして遊べるようサポートしている</li> <li>・好きな遊びを思いっきり楽しむことで、来室の楽しみや喜びちょっと難しいこともスモールステップで挑戦できるようサポートしている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイナミックに遊ぶ、楽しかったという児童の満足感やまたやりたい、もっとやってみたいという意欲、苦手だけど挑戦してみたいと児童の気持ちを動かせるような場の設定、演出も考えながら取り組む</li> </ul>

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・送迎をおこなっていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両親ともに仕事をしており、放課後の時間に送迎をおこなうのが難しい保護者も多にいる</li> <li>・将来的には、目的を持って来室すること、電車やバスに乗って自力通室の練習として対応しているが、保護者の送迎がないと来室が難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の事情に応じた臨機応変な対応も検討していく</li> <li>・小学校高学年頃の自力通室へのモチベーションが持てるよう促していく</li> </ul>
2	・家族支援として、保護者同士の交流会や研修会の機会が設けられていない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事をしている保護者も多く、日程の設定等の難しさを感じている</li> <li>・個々でニーズや要望はありそうだが、明確な確認やとりまとめができていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数からでも交流の機会が多く持てるよう日程を多く設けていく</li> <li>・きょうだい児の支援についても、ニーズ等の情報収集をしていく</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の他のお子さんとの交流ができていない</li> <li>・地域の人を招待するイベント等がおこなえていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の観点から、大々的な外部との交流は慎重におこなう必要がある</li> <li>・児童発達支援の児童は少ないため、今後増やしていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の公園や図書館、児童館などを利用して地域の児童と関われる機会を増やしていく</li> <li>・長期休みなどに外出の機会を増やし、地域や社会に触れる機会を多くしていけるよう努める</li> <li>・ボランティアや他事業所との交流の機会など、児童の活動の場が広げられるよう努めていく</li> </ul>